

2020年11月4日

**「女性の意思決定層への参画推進」を目的に、G20 諸国・地域を
中心に形成された「EMPOWER^{※1}」の趣旨に賛同し、
日本での活動を支援する個別企業・団体である「アドボケート」に参画**

キリンホールディングス株式会社（社長 磯崎功典、以下キリンホールディングス）は、11月4日（水）に、「女性の意思決定層への参画推進」を目的に、G20 諸国・地域を中心に 27 カ国・地域で形成されたグローバル組織である「EMPOWER」の趣旨に賛同し、活動を支援する個別企業・経営層および団体である「アドボケート」として参画します。

※1：Private sector alliance for the Empowerment and Progression of Women's Economic Representationの略。

“経済における主要な役割を担う女性が増え、エンパワメントを加速するための民間企業のアライアンス”で、2019年6月のG20大阪サミットで各国首相の信認を受けて立ち上がった。2020年4月から民間主体で2年間の活動を開始している（必要に応じて活動期間を延長）。2020年G20議長国サウジアラビアが議長を務めており、前年および翌年のG20議長国である日本・イタリア、提案国であるカナダが副議長を務める。

今回は、キリングroup内でのダイバーシティおよび女性活躍推進への認識や取り組みの推進力を高めること、また、国内外における参画企業との情報共有を通じたネットワーク形成やグローバルマインドセットの醸成などを目的として、「アドボケート」への参画に至りました。

今後はグッドプラクティスの共有や情報提供、「EMPOWER」が実施するアンケートへの協力および関連するイベントや、会合への参加といった活動を予定しています。

キリングroupは長期経営構想「キリングroup・ビジョン 2027」（以下「KV2027」）を策定し「食から医にわたる領域で価値を創造し、世界のCSV^{※2} 先進企業となる」ことを目指しています。また「KV2027」の実現に向け、イノベーションを実現する組織能力の強化の1つに「多様な人材と挑戦する風土」を掲げています。

キリングroupは、これまででも女性活躍推進法に先んじて2013年に策定した「キリングroup女性活躍推進長期計画（KWN2021：キリン・ウィメンズネットワーク2021）」に基づき、計画的に女性の育成や登用を進めてきました。

また、キリンホールディングスは2019年5月に「30% Club Japan^{※3}」に加盟しており、取締役会に占める女性割合について、2030年に30%とすることを目標に掲げ、幅広い層における女性のパイプライン強化に向けてトップが自らコミットし推進しています。

※2：Creating Shared Valueの略。お客様や社会と共有できる価値の創造。

※3：「30% Club」は、2010年に英国で創設された、役員に占める女性割合の向上を目的とした非営利の世界的キャンペーンであり、企業の経営トップらが自ら加入して多様なステークホルダーが連携して女性比率向上に取り組む枠組み。2019年5月1日に設立された「30% Club Japan」は、英国同様の活動により、TOPIX100企業の取締役会に占める女性割合を2030年に30%とすることを目標とし、企業のガバナンス強化はもちろん、持続的成長の促進や国際競争力の向上、持続可能な日本社会の構築に寄与することをビジョンとしている。

キリングgroupは、今後もジェンダーダイバーシティを、企業が対応すべき喫緊のビジネス課題と捉え、「KV2027」に基づく経営戦略の1つとして推進していきます。